

1

寝屋川市は特区民泊からの“離脱”を表明しました

問企画一課(☎825・2016)、保健衛生課(☎829・7721)

市民の皆さんへ

本市は、子育て世代から「選ばれるまち」となるべく、住宅都市として魅力あるまちづくりを行い、子どもたちが安心して学べる質の高い教育環境を整え、新たなまちのブランド構築を進めています。

本市に暮らす市民の満足度を上げていくまちづくりの方向性と、法律の規制を緩和してまで旅行者などを受け入れる特区民泊が目指す方向性は、大きく異なるものであり、「いま」の本市には、特区民泊は不要であると判断しました。

特区民泊の問題には2つの側面があります。一つは、「利用者と地域住民との問題」であり、もう一つは、「外国人の『定住のための手段』として利用されている問題」です。これは、外国人が民泊を経営することで、「経営管理ビザ(最長5年更新可)」を取得できるもので、近年この方法での“移住”が急増しているとされています。

現状、寝屋川市域内には特区民泊施設は2施設しかなく、これまで市に対する苦情・相談などはありません。

しかしながら、大阪市において、特区民泊を認める地域の制限などの議論がなされているとの報道もあり、これまで主に大阪市であった特区民泊の営業地域が、本市を含む周囲の市に移ってくることは十分に想定されます。

今後市内に特区民泊施設が増え、他自治体で起こっているような特区民泊に関するトラブルが起こってからでは、その解決のための労力や時間もより多くかかることになります。

観光などを含めた経済政策を必要とされる都市中心部と、ベッドタウンとしての周辺市は求められるまちの方向性は異なります。寝屋川市は将来のまちづくりの方向性をしっかり見据え、特区制度の在り方に“一石”を投じます。

寝屋川市長 広瀬 慶輔

「社会的課題」への対応に、多数のメディアが注目しています

- フジテレビ「サン!シャイン」「めざましテレビ」
- テレビ東京「WBS(ワールドビジネスサテライト)」
- 日本テレビ「DayDay.」
- 毎日放送「よんチャンTV」
- 読売テレビ「かんさい情報ネットten.」「す・またん!」
- NHK
- 新聞各紙(毎日・朝日・読売・産経・日経)
- その他、多数メディアで取り上げられました



4 すてきに生きる くすりと健康展

HP 17207 市薬剤師会(☎828・3933)・健康づくり推進課(☎812・2372)



日時 **10月19日** 日

午前10時～午後3時

場所 市立保健福祉センター

講演 健康教室

テーマ 「健康に生きる=腸活」

時間 午前10時40分～正午

講師 寒川 慶一さん(医学博士・薬学博士)

定員 100人(申込順)

申込 ※後日、受講票を送付します。

9月26日(金)までに郵送又はFAX、市ホームページ(右のQRコード)から住所、氏名、電話番号、参加人数を書いて(一社)寝屋川市薬剤師会(〒572-0036 池田西町28番22号、FAX 839-3933)



標語 **川柳** を募集します

「くすり・健康・栄養」がテーマで応募は1人1作品です。

申込 作品と住所、氏名(ふりがな)、年齢(学年)、職業、電話番号を書いたものを郵送又はFAXで9月26日(金)=必着=までに市薬剤師会(左記のとおり)

ほかにも楽しいイベントが!

※いずれも先着順

- ストレス測定・血管年齢(定員30人)
- 血圧測定
- 血糖値測定(定員150人)
- お薬相談会(1人15分程度)
- こども薬剤師体験
- 手作り入浴剤 など



5 健康長生塾

より健康で文化的な明るい暮らしを築くために 市健康づくり推進課(☎812・2372) HP 7650



講義を聴くだけでなく、体力測定や脳トレなどを実施する、参加型の教室です。

日時 **10月2日・16日・30日・11月13日・27日**

午後1時30分から

※詳しくは市ホームページなどを見てください。

場所 市立保健福祉センター

対象 市内在住の30歳以上の人

定員 **60人**(申込順、初めての人を優先)

費用 テキスト代 **500円**

申込 9月1日～12日に直接窓口又は電話で健康づくり推進課

日程	内容
10月2日	開塾式 特別講演「健康寿命を伸ばしましょう!～高齢者の感染対策の必要性」
16日	体力測定 「発育発達と歩行について(ナチュラルウォークとコーシャスウォーク)」(機能的な運動で「安全に歩く」方法を身につけよう) 「脳トレをやってみよう」
30日	「目の健康と予防法～人生100年時代!大事な目を守りましょう」
11月13日	薬の話「くすりの正しい飲み方」 歯の話「お口の健康と健康寿命の関係について」
27日	健康寿命の話 閉塾式

※いずれも木曜日です。

- ①開塾式(初日)を含め4日以上受講した人には、修了証書を渡します②健康状態によっては見学となる場合があります③参加者には後日、案内ハガキを送付します。

2 臨時の窓口閉鎖のお知らせ

HP 25676 市民サービス部総務担当(☎824・2112)

9月13日(土) 14日(日) 15日(祝)

市民サービス窓口が一部を除き利用できません

	9月13日(土)	14日(日)	15日(祝)
市サービスゲート	証明書交付及び公金収納のみ実施		×
パスポートセンター(マイナンバー関連含む)	×	×	×
シティ・ステーション(香里園・萱島・西・東)	×	×	×

日曜日、祝日は通常どおり閉庁

※15日(祝)はコンビニでの証明書交付もできません。

住民記録・税・福祉・子育て・就学などの情報を取り扱うシステムについて、国の仕様に合わせたシステムへ変更する必要があるため、市サービスゲートなどの一部窓口を閉庁します。日程及び閉庁する施設などは左の表のとおりです。詳しくは市ホームページを見てください。

3 (仮称)こども専用図書館の愛称が決定!!

来春オープン予定

市立中央図書館(☎800・3711)

愛称が “こども図書館+plus” に決まりました!

寝屋川市駅前に 来春オープン予定!

お楽しみに!

「+plus(プラス)」という名前には、図書館の基本的な機能に加え、子育て支援のためのスペースや自習室など、多彩なサービスを備えているという意味があります。



遊び場も充実!

6

令和7年国勢調査

インターネットで簡単・便利に回答！ 問 令和7年国勢調査寝屋川市実施本部 (☎820・6102)



令和7年

国勢調査



国勢調査は5年に一度、10月1日現在、日本に住んでいるすべての人と世帯を対象に行います。結果は、国や地方公共団体の施策の立案・推進に活用するほか、学術・教育・民間などの分野でも広く活用されます。

回答は、簡単・便利なインターネットを活用してください。
郵送による提出も可能です。

調査票の記入内容は厳重に守られます。

回答期間

インターネットでの回答

▶ 9月20日～10月8日

調査票での回答

(郵送又は調査員に手渡し)

▶ 10月1日～8日

※9月下旬から、調査員が皆さんの家を訪問し、調査書類を配布します。皆さんが安心して回答できるよう、調査員などへは厳格な守秘義務が課せられます。

5年に一度、
全員参加の統計調査



国勢
調査
2025

調査期日

10.1 水

<https://www.kokusei2025.go.jp/>

国勢調査2025

検索

**国勢調査を装った詐欺や
不審な調査に注意！**

調査員は、「調査員証」を携帯しています。訪問時に皆さんへ金銭を要求したり、銀行口座の暗証番号やクレジットカード番号を聞いたりすることはありません。

